

# 「サケの栗山川」で

## ゆう名に

横芝小4年  
池田友紀



コンクール入賞作品

# 川を泣かさないために

さなゴミも流れないように。  
☆洗濯には、無リン洗剤を使う。使いすぎに注意。

川には、よこが流れ込んでも、微生物が自然に分解し、またきれいな流れをとりもどす「自浄作用」があります。しかし、右の表でもわかるように、一日に軽トラック22台分ものよこは、川の自浄作用だけでは間に合いません。母なる川「栗山川への恩返

☆食べ物のカスや調理クズを流さない。  
三角コーナーには、古いストッキングなどを敷いて、小

これだけでも  
ずいぶんちがう



## 浄化能力 バツグン 合併処理浄化槽

町では、し尿と生活排水を同時に処理する合併浄化槽の設置者に、補助金を交付しています。

この補助制度を有効にご利用ください。特に、住宅を新築される方や、汲み取り方式から水洗式に変える方は、ぜひご検討ください。

### 補助金の額

| 入槽区分   | 限度額  |
|--------|------|
| 5人槽    | 30万円 |
| 6~7人槽  | 45万円 |
| 8~10人槽 | 80万円 |

まごころべん当やさんのわきに車を止めて栗山川のはしをおりてみました。右を見ると、何人かの男の人が、さおをおろしてつりを楽しんでいます。  
「何がつれるのだろう。」  
左を見ると、大きなブルドーザーが工事をしていました。  
「また、栗山川がかわるのかな。」  
この栗山川も、むかしからいろいろと、かわってきたらしい。おじいちゃんにきくと、  
「むかしはな、あゆなどもないで、よくあみをかけに行ったりだよ。それに、しじみなどもよくとりに行って、食べたもんだ。食べるために大事な川だったんだよ。」  
とおかあさんは、  
「栗山川からながれる一号線、

いまの小学校のわきを、せきとめて、そこをプールのようにして、みんな泳いだんだよ。」と話してくれました。そして、「昭和四十年すぎから、川がよこははじめたんだよ。川へいくと、まっかな水がながれていてね、なぜだと思う?」  
「よこれたの?」  
「ちがう。あのね、近くにぶたをりよりする場所があって、そこから、すごいいきおいで血がながれてきたのよ。」  
「えー。」  
わたしは、びっくりしてしまいました。そこにゴミをすてたりする人も出てきて、人々が見むきもしない栗山川になっていったようです。  
今、こうして、この栗山川をみていると、茶色の水ではあるけれど、つりをする人な

どもできてきているということ、は、少しずつ、きれいな栗山川にかわっているのだと思います。  
そして、ここ何年かは、サケの川で知られるようになっていくようです。テレビでサケをはなす栗山川をうつしたこともあるということ。横芝町の「こうほう」というしんぶんでも、よくサケのことがでています。三月のしんぶんには、

「栗山川に百万びきのちぎよをほうりゆう」ということがかいてありました。おかあさんに読んでもらいました。「すてきなこと」と思いました。サケは、三・四年したら、もとの川にかえってくるという勉強を二年のときにしました。百万びき全部が、元気に、「ただいま。」  
って帰れる日のために、今より、すんだ、きれいな川にしてあげたいものです。そのた

めにはひとりひとりが、川をきれいにするように心がけてはいけません。手ですくつてのめるようなきれいな川になるよう、みんなが、力をあわせてがんばりたいものです。夕はんの時、  
「栗山川のサケはおいしいね。きれいだし。」って見える日かきたらすごいと思います。「サケの栗山川」でゆう名にした